

丸の内キャリア塾

Marunouchi Career Academy

2011
JUNE
LECTURE
107

Subject

改革を
成し遂げる

丸の内キャリア塾とは、毎月第3火曜日に掲載しているキャリアデザインを考える女性のための実践的学習講座です。毎回1つのテーマを掲げ、キャリアアップに必要な考え方と行動方法について多面的に特集しています。今回のテーマは「改革を成し遂げる」。存続の危機にあった学校の改革を例に、組織を構成するメンバーや仕組みを生かしながら改革に取り組むためのヒントを探ります。



人や仕組みを
変えない改革

品川女子学院という学校の校長をしています。学校改革に取り組み、入学希望者数は7年間で60倍に増えました。こうした学校は他にもありますが、女子校を共学化したり、スタッフが大幅に入れ替わったりなど、仕組みや人を変えるケースもあるようです。本校は女子校のまま、元々いる仲間とともに改革を進めました。それが私たちの大切

第61回セミナー

「心のスイッチを入れる
～学校改革で学んだぶれない軸の作り方」
**リーダーの環境作りが
組織の行動を変える**

「28歳になったとき社会で活躍している女性を育てる」という独特の教育方針で知られる品川女子学院。一時は存続も危ぶまれた同校が、改革により7年間で入学希望者数を60倍に伸ばした。改革を先導した同校校長の漆紫穂子さんに、その貴重な体験談を語っていただいた。

【今回の講師】

品川女子学院校長
漆紫穂子さん



Shihoko Urushi

1961年東京都生まれ。中央大学卒業後、早稲田大学国語国文学専攻科修了。品川女子学院で「28プロジェクト～28歳になったときに社会で活躍する女性」を立ち上げ、従来の学校の役割を超えた生徒と社会を結ぶ学校作りを実践している。著書に「女の子が幸せになる子育て」(かんき出版)、「女の子が幸せになる授業」(小学館)がある。

にしてきたことです。品川女子学院の創立は関東大震災から2年後の1925年。創立者は私の曾祖母です。私学は、生徒から集める授業料と補助金で運営しています。お金がなければ割れた窓ガラス一つ直せないし、生徒がいなければ「教育」と「経営」は車の両輪なのです。私は幼いころから教員になるのが夢でしたが、親の苦労を見ていたので学校経営には携わりたくありませんでした。他校で教員として働いていたのですが、28歳の時、品川女子学院に移りました。

理由は2つありました。1つは副校長をしていた母が余命半年と言われたこと。もう1つは、本校の置かれた厳しい状況を知ったことです。当時、志望者が少なく偏差値が測定できないような状態で、中等部1学年の生徒数が5人ということもありました。私は「力はないけれど、できる限り手伝おう」と決意しました。

校長の娘なら発言権がありそうに思えますが、父は公平を重んじ、あえて私の意見を遠ざけます。周りの先生方も私を幼い

ころから知っていて、親心で「3年間は無気ななと言っちゃだめだよ」とアドバイスされるような状況でした。一つだけ私にできたのは、周囲の人の話を聞くことでした。生徒、保護者、卒業生、そして同僚にこの学校の問題点を聞いて回りました。すると、どこが悪いのか、どうしたらいいか、皆が分かっているのです。ただ、それがトップに届いていなかったのです。

私は自分でできることから始めました。まず、中等部の生徒を募集するため、塾を回り始めました。すると、助けてくれる人が少しずつ現れてきたのです。「手伝うのは、あなたが強い人でも、優秀な人でもないことを知っているから」と言われました。自分の弱さが、逆に周囲の人が力を貸してくれる強みになるのだとしみじみ思いました。

こうして、徐々に経営は安定しましたが、新たな問題が起きてきます。何となく慢心し、内向きになり、思い切った改革ができなくなってきた。全員の気持ちこそそろわず、やればやるほど疲れてしまうという悪循環に陥ってしまいました。

やってきたことでした。私は改革の過程で、人が動かない4つの理由を学びました。1つ目は「知らないこと」。なぜ、改革が必要なのかをそもそも知らない。そういう人とはまず情報を共有することが大事です。2つ目は「面倒くさい」。3つ目は「怖い」。世の中には「ゴールの成果が見える人」がいる一方で、「プロセスでのリスクが見える人」もいます。見ている絵が違う限り平行線のままです。相手が何を恐れているのか、どんな手間をイメージしているのか、それを聞いて、解決法を一緒に考える。そして、ゴールの絵を共有しながら調整していきます。

人が動かない 4つの理由

改革で大切なのは、過去を否定しないこと。改革をする人は過去に行ってきたことにも必ず意味があると考えるべきです。私たちの学校でも、過去に行ってきたことはすべて生徒のためを思っ

てやってきました。こうして、徐々に経営は安定しましたが、新たな問題が起きてきます。何となく慢心し、内向きになり、思い切った改革ができなくなってきた。全員の気持ちこそそろわず、やればやるほど疲れてしまうという悪循環に陥ってしまいました。

改めて教員にヒアリングすると、「学校のビジョンが見えない」「どこに向かっているのか分らない」と言われたのです。私は、目標があるのになぜ伝わらないのだろうと、悩んでいたのです。が、上から落ちてくる目標は、その人の心からのものではないため、みんなの目標にはなり得なかつたのです。そこで原点に戻り、2年間かけて創立の理念から振り返り、一人ひとりの教員や職員がやりがいを感じる瞬間をすり合わせ、皆の言葉をつないで学校のミッションを作りました。これが再スタートでした。

チャンネルのエイジング ケア「エクストレム コレクション」は、いつまでも輝く女性のキャリアライフを応援します。

CHANEL

ULTRA CORRECTION
LIFT EYE

まなざしに、美しい緊張感。

ハリをもたらすエイジング ケアから、アイ クリーム誕生

肌に美しいハリと弾力をもたらす、エクストレム コレクション フェーミング。テンション(引っ張る力)+インテグリティ(形を作る力)の融合「テンセグリティ」に着目。すべてに独自の成分<エレミ PFA*>を配合した、実力のエイジング ケアです。新たに誕生したアイ クリームは目もとの肌にハリと弾力を与え、キメを整えて、くっきりと美しい緊張感をもたらします。

* シャネル独自の分離抽出プロセスで精製された保湿成分

エクストレム コレクション フェーミング アイ <目もと用クリーム> 15g 10,500円(本体10,000円)



エクストレム コレクション フェーミング 全8アイテム 8,190円(本体7,800円)～17,325円(本体16,500円)

アイ/ナノローション/リップ/マスク/セラム/フレイド/クリーム/ニュー クリーム

チャンネル 0120-52-5519 www.chanel.co.jp



IT MAKES US HAPPY TO MAKE SHOES
THAT MAKE PEOPLE HAPPY.

SKAGEN, DENMARK SPRING / SUMMER 2011

19  63

ecco.com

ecco®

ECCO JAPAN Co.,Ltd. 03-5468-7810 (カスタマーホットライン)